

# 徳島市富田中学校のあゆみ II 草創（昭和20年代）



昭和20年代の富中では、「明朗闊達」な校風の樹立が芽生え、その後の富中教育の礎となる様々な規則や実践が始まりました。校訓「友愛・自律・互敬・互譲」は昭和26年に掲げられました。



富田小学校玄関をバックに仮装をした富中生たちの運動会記念写真。（昭和23年）

**授業・部活動**：25年に県標準教科課程実験指定校となり、26年には四国地区中等教育研究集会の会場を受けて、施設・設備も整備されていきます。また、部活動では、野球・卓球・蹴球・庭球・籠球・体操・陸上など運動部のほか、27年にはブラスバンド部が結成。この頃の生徒数は1200余名でした。

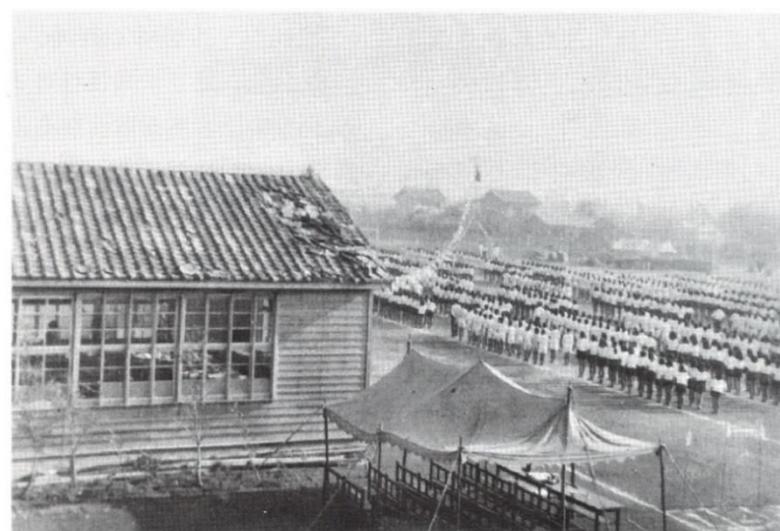


**学校行事**：第1回卒業式では、小学校の講堂を借りて19名の卒業生を送り出しました。主な学校行事のうち、運動会（22年11月の第1回から仮装行列）のほか、津田海岸浜での臨海学習（水泳）や小松島までの耐寒マラソン大会もありました。また、23年の修学旅行では京都・奈良方面に出かけた（旅費一人あたり440円）という記録が残っています。27年11月には本校初の文化祭が表現・展示の部に分かれ開催されました。

**校訓**：「友愛・自律・互敬・互譲」

初代校長岡本優太郎先生が、「君たちが友愛にあふれ、自律であることを富中の誇り」と朝礼で言われた言葉から生まれた。また、「私も君たちを尊敬している」とも話された精神に基づき、後に「互敬・互譲」が追加されたとされる。

昭和26年3月20日の卒業式のために額を書き表装した。本校教育の根幹となっている。



昭和20年代の運動会風景